

べっぶしこうかいどう  
**別府市公会堂**

上田の湯 別府市

市指定有形文化財（建造物）

平成6年11月26日指定

別府市制施行（大正13年4月1日）を記念に、当時の北町上、麻生別荘五六庵跡地に43万円の巨費を投じ、昭和3年3月28日竣工した。

「国際都市に相応しい文化の薫り高い建物を」との神澤又市郎市長の方針から、設計者には当時日本の近代建築をリードしていた逓信省の吉田鉄郎技官に白羽の矢が立てられた。

建物は、落ち着いた色彩のスクラッチタイルを張った壁面に、5連のアーチを持つ壁柱・バルコニーで凸凹をつけ、格調高い重厚な正面構成。さらに細部に組み入れられた尖頭・放物線・半円などの構成美と丸窓の組み合わせは、建物の四囲、方位の如何を問わず、観るものに抽象的な絵画・彫刻にも通じる造形の美しさを感じさせる。

建物はストックホルム市庁舎をモデルにしたと言われている。

施工業者 溝口組



（外山 健一）